

令和5年度 入札契約制度等の見直し概要

公契約大綱に基づき、公契約の適正化を進めることにより、公契約に対する府民の信頼を確保し、府民福祉の増進及び地域経済の健全な発展に寄与するため、次のとおり、入札契約制度等の改正を行いました。

1. 不可抗力による損害の見直し【R4年度からの再掲】

工事目的物の引渡し前に、不可抗力により損害が生じたときは、発注者が損害合計額のうち請負代金額の100分の1を超える額を負担していたところ、災害応急対策又は災害復旧に関する工事における損害については、発注者が損害合計額を負担

2. 経常JV制度の見直し【R4年度からの再掲】

単体企業との公平性を確保し、経常JV制度の目的に沿った適切な運用を図るため制度の見直しを実施(令和3、4年度において、緩和措置を行っていましたが、令和5年より緩和措置を終了)

3. 施工箇所が点在する工事の積算方法についての改定

施工箇所点在の範囲基準(施工箇所間の直線距離)を1kmに統一するとともに、対象工事も全ての工事に拡大

4. 低入札価格調査における意向確認対象の拡大

府内工事と橋梁工事のみを対象としていた「意向確認」を、WTO 案件以外のすべての工事に拡大

5. 公共工事設計労務単価の改定

昨今の技能労働者等の不足等に伴う労働市場の実勢価格を適切に予定価格に反映するため、平成26年から11年連続で、例年4月の改定を前倒して実施

6. 建設現場における快適トイレ設置の試行

建設現場を働きやすい環境とする取組の一環として、快適トイレを設置する取組を促進

7. 入札参加資格確認申請時における配置予定技術者調書等の簡略化

入札事務の負担軽減のため、資格申請に関する書類の一部を簡素化

- ・配置予定技術者調書の記載事項の簡略化
- ・入札参加資格確認申請時における資格等確認資料の添付を省略
(落札決定後、落札者に限って提出を求めて審査)

8. 週休2日制工事実施要領の策定

建設労働者の健康確保やワーク・ライフ・バランスの改善などを促進するため、週休2日制工事を試行から全面実施へ移行

9. 土木設計業務等委託契約における設計変更ガイドラインの策定

土木設計業務等委託契約における設計変更の円滑化及び適正化を図るため、設計変更ガイドラインを策定

1. 不可抗力による損害の見直し【R4年度からの再掲】

1 趣旨

災害が頻発化・激甚化する近年において、地域の建設企業が安心して災害復旧工事を受注することのできる環境を整え、災害復旧を円滑に進めるため、2次災害による損害発生時の受注者負担をゼロとし、全額発注者負担とします。

2 内容

改正前

民法の考え方を転換し、受注者が請負代金額の1/100を負担し、残りを発注者が負担する旨規定



改正後

「災害応急対策又は災害復旧に関する工事」中の2次災害（不可抗力）による損害については、受注者が善管注意義務を果たしていることを前提に、1/100の受注者負担を求めない

3 適用日

令和5年4月1日から適用

2. 経常JV制度の見直し【R4年度からの再掲】

1 主旨

単体企業との公平性を確保し、経常JV制度の目的に沿った適切な運用を図るため制度の見直しを実施しました。

令和3年度及び令和4年度において、緩和措置を行っていましたが、令和5年度からは緩和措置を終了します。

2 内容

令和3年度及び令和4年度に限り、以下の対象に適合する経常建設共同企業体には、昇格にあたって、「『下位経過年数』及び『等級区分点に20点を加えた総合点』を要件としない」こととしていました。

緩和措置の終了に伴い、全ての経常建設共同企業体において、昇級にあたって、「『下位経過年数』及び『等級区分点に20点を加えた総合点』を要件とします。

○緩和措置の対象であった経常建設共同企業体

令和2年度に結成した経常建設共同企業体を、令和3年度及び令和4年度も継続（同一構成員で結成）する経常建設共同企業体

3 適用日

令和5年度の経常JVによる入札参加資格審査申請から緩和措置を終了

3. 施工箇所が点在する工事の積算方法についての改定

1 主旨

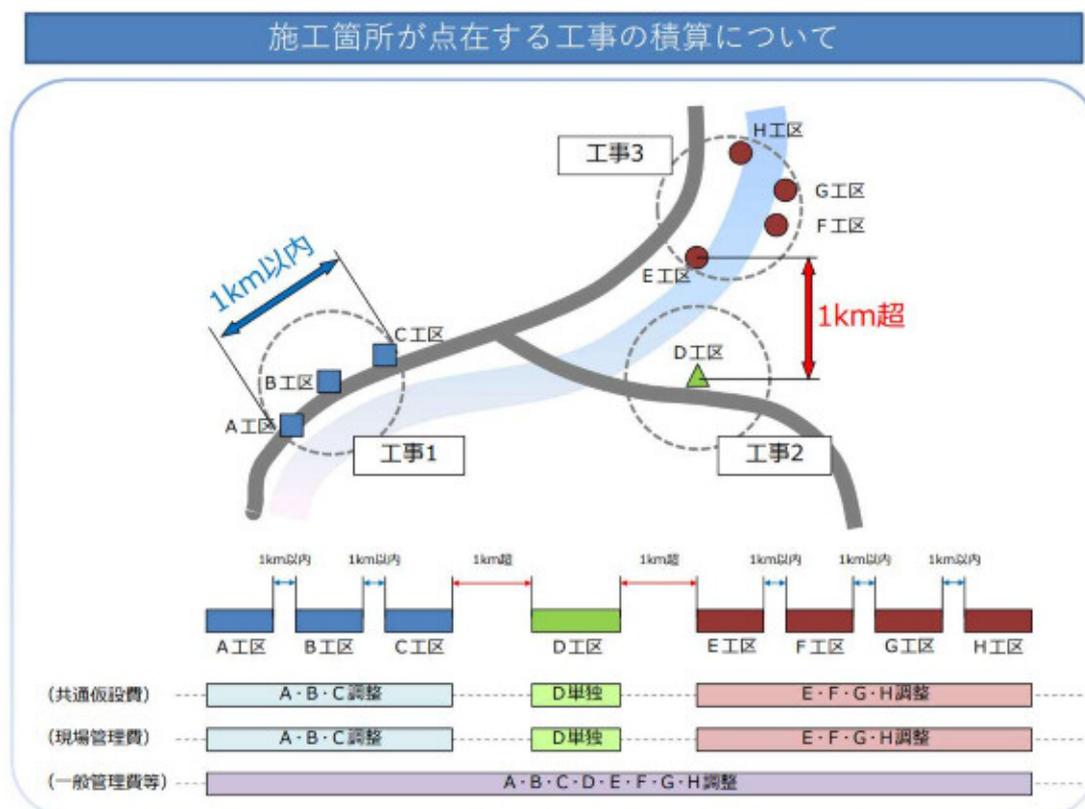
施工箇所が点在する複数の施行箇所をまとめて発注する工事については、標準積算による積算額と実際にかかる費用との間に乖離が生じることが想定されるため、災害復旧工事等の一部工事において実態に合わせた積算方法を試行してきましたが、今般、土木工事標準積算基準の考え方に準拠して本格運用を開始します。

2 対象工事

施工箇所が複数あり、施工箇所が1km程度を超えて点在する工事を対象とする。
なお、通年維持工事等、当初契約において工事場所を範囲で指定する工事は除く。
ただし、これによりがたい場合は個別に考慮できる。

3 内容

- (1) 施工箇所間の直線距離が1km以内の複数の工事については、ひとつの工事とみなして積算し、共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等の調整を行う。
- (2) 施工箇所間の直線距離が1kmを超える複数の工事については、施工箇所毎に共通仮設費及び現場管理費を算出し調整を行わず、一般管理費等についてのみ当該複数の工事をひとつの工事とみなして調整を行う。((1)でひとつとみなした複数の工事については、当該複数工事をひとつの施工箇所とみなす。)



4 適用期日

令和5年9月1日以降に入札公告又は入札通知を行う工事から適用。

4. 低入札価格調査における意向確認対象の拡大

1 主旨

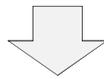
低入札価格調査への協力について、あらかじめ意向を確認することにより、速やかな落札決定を可能とするとともに、受発注者双方の入札事務の負担軽減につなげるため、意向確認試行対象の範囲を拡大します。

2 内容

意向確認試行対象の拡大

【現行】

低入札価格調査対象工事(予定価格 1 億円以上の工事)のうち、府内工事、及び橋梁工事(WTO案件を除く)について、低入札価格調査の意向確認を実施



【改正】

低入札価格調査対象工事(予定価格 1 億円以上の工事)のうち、WTO案件を除くすべての工事について、低入札価格調査の意向確認を実施

3 適用日

令和6年1月 29 日以降、入札公告するもの。

5. 公共工事設計労務単価の改定

1 主旨

建設市場における労務単価について、実勢価格を適切に予定価格に反映するため、公共工事設計労務単価の改定を前倒して実施します。

- ・平成 26 年から 11 年連続で、4 月改定を前倒して実施
- ・平成 25 年度から 12 年連続で上昇しており、最大の伸び率であった昨年度(R5.3 改定 6.6%)と同程度の上昇

2 内容（公共工事設計労務単価）

| 職種 | 新単価 | 旧単価 | 上昇率 |
|-----------|----------|----------|------|
| 特殊作業員 | 24,000 円 | 22,900 円 | 4.8% |
| 普通作業員 | 22,300 円 | 21,500 円 | 3.7% |
| とび工 | 26,300 円 | 25,000 円 | 5.2% |
| 鉄筋工 | 26,500 円 | 25,200 円 | 5.2% |
| 特殊運転手 | 23,800 円 | 22,300 円 | 6.7% |
| 型わく工 | 28,400 円 | 26,300 円 | 8.0% |
| 大工 | 26,300 円 | 24,000 円 | 9.6% |
| 交通誘導警備員 A | 16,500 円 | 15,300 円 | 7.8% |

※全 51 業種で単価改定され、京都府の平均上昇率は 6.3%（全国平均 5.9%）

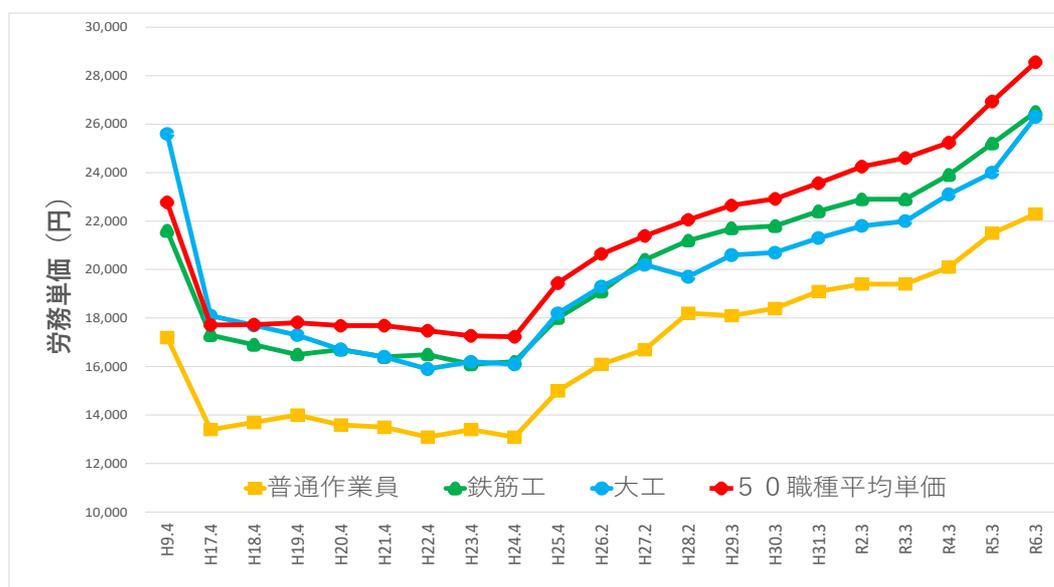
3 適用日

令和 6 年 3 月以降の積算から適用

4 特例措置

令和 6 年 3 月 1 日以降に契約した工事等において、旧単価で予定価格を算出している場合、その工事の受注者は、発注者に対し、新単価に基づく契約に変更するための協議を請求できることとしました。

（参考）設計労務単価の推移



6. 建設現場における快適トイレ設置の試行

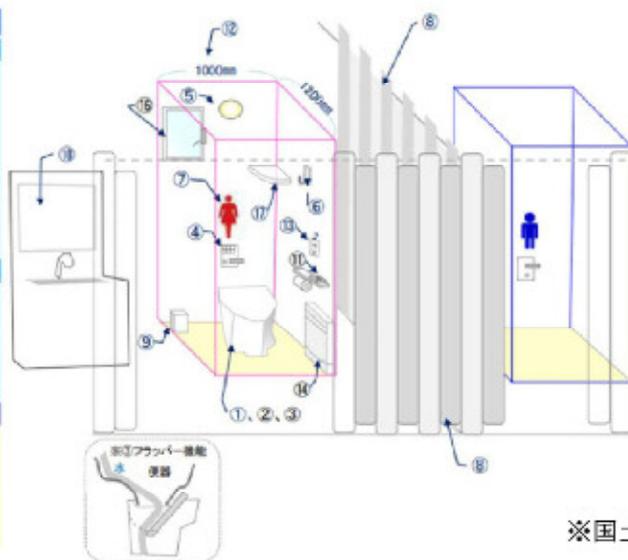
1 主旨

建建設現場を働きやすい環境とする取組の一環として、誰もが快適に使用できる仮設トイレ(いわゆる「快適トイレ」)を設置する取組を促進します。

2 内容

快適トイレを設置しようとする場合、あらかじめ監督職員と協議し承諾を得ることにより、快適トイレに要する費用を設計変更で計上します。

| 快適トイレの標準仕様 | |
|--|--|
| 1. トイレに求める仕様 | |
| ①洋式座席 | |
| ②水洗便器(簡易水洗、し尿処理装置を含む) | |
| ③臭い逆流防止機能(フロッパー機能) (必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策を取る こと) | |
| ④容易に開かない施錠機構(二重ロック等) (二重ロックの備えがなくても容易に開かない ことを製造者が説明出来るもの) | |
| ⑤照明設備(電源がなくてもよいもの) | |
| ⑥衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場 設置機能(耐荷重5kg以上) | |
| 2. 付属品として備えるもの | |
| ⑦現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 | |
| ⑧入口の目隠しの設置(男女別トイレ間も含め入 口が直視見えないような配置等) | |
| ⑨セナリーボックス(女性専用トイレに限る) | |
| ⑩鏡付きの洗面台 | |
| ⑪便座除菌シート等の衛生用品 | |
| 3. 推奨する仕様、付属品 | |
| 居室内寸法900×900mm以上(半畳程度以上) | |
| 自動弁装置 | |
| 経電替え台(フィッティングボード等) | |
| ⑤フロッパー機能の多重化 | |
| 採光など室内温度の調整が可能な設備 | |
| ⑩小物置き場等(トイレペーパー予備置き場) | |



※国土交通省資料抜粋

3 適用日

令和6年3月以降から適用

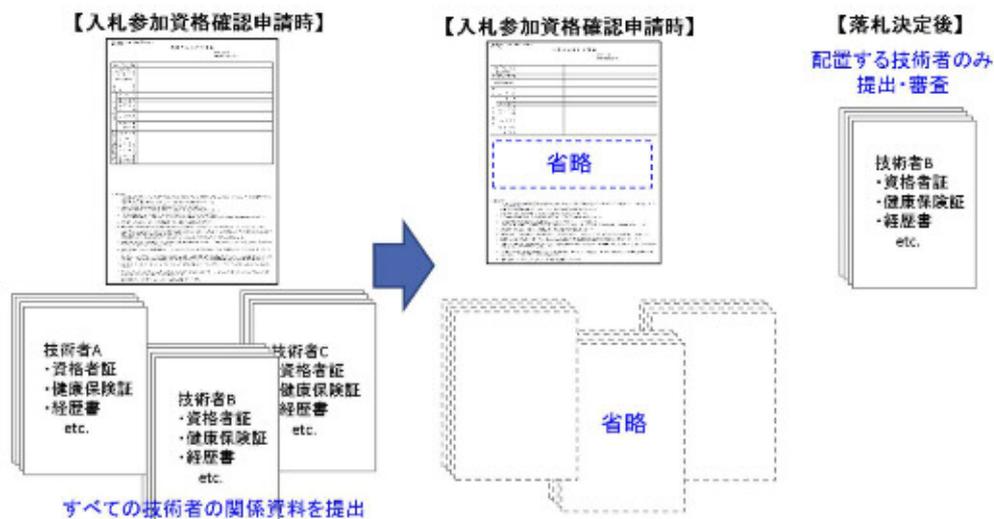
7. 入札参加資格確認申請時における配置予定技術者調書等の簡略化

1 主旨

入札事務の負担軽減のため、配置予定技術者調書の記載内容等を簡略化します。

2 内容

- 入札事務の負担軽減のため、次のとおり取り扱いを変更します。
- ・配置予定技術者調書(様式)の変更
(同時に入札参加する工事等の記載を省略)
 - ・技術者の資格・雇用関係等を証する書類の提出時期の変更
(落札決定後に、実際に配置する予定の技術者分のみを提出・審査)

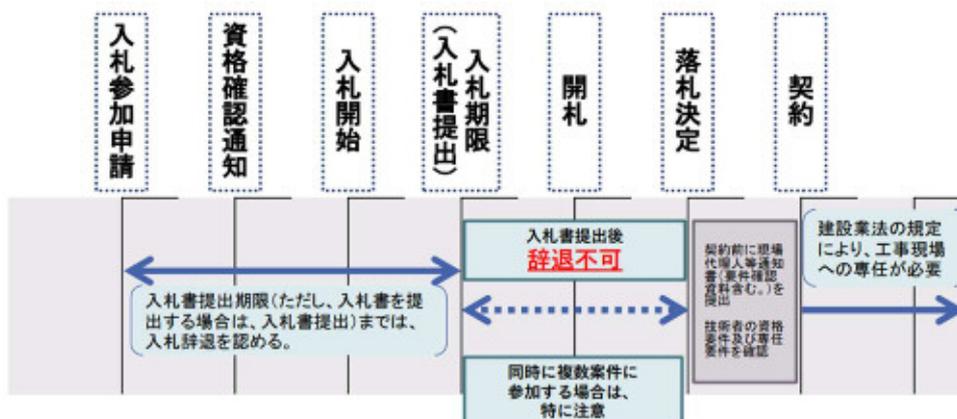


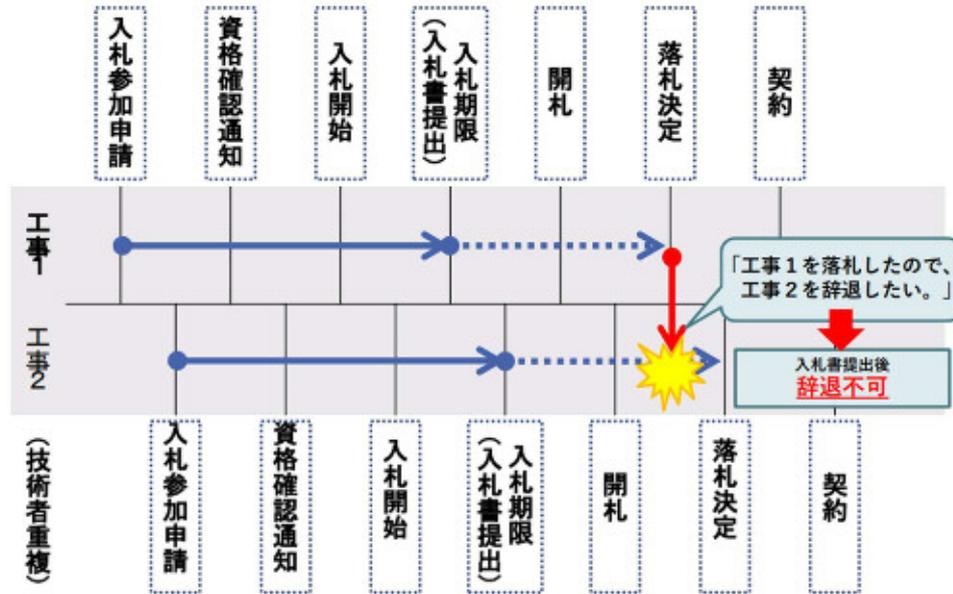
3 適用期日

令和6年4月1日以降に入札公告又は入札通知を行う工事から適用。

4 留意事項

- 京都府では、入札書提出後の辞退を認めていません。
- ・入札期間が重複する複数工事に応札し、結果、複数案件を同時に落札するなど、配置予定技術者が配置できない場合も、辞退できませんので御留意願います。
- ※落札決定後、技術者が配置できない場合は「違約金の徴収」や「指名停止措置」の対象となることがあります。





同一1名の配置予定技術者の入札条件について

| | | |
|----|----------------|----------|
| 凡例 | ◇ : 入札参加資格確認申請 | A : 技術者A |
| | △ : 入札書提出 | |
| | × : 入札辞退 | |
| | ● : 落札 | |
| | ■ : 落札せず | |

| パターン (例) | 備考 |
|---|---|
| ① 工事1 ◇ — ^A △ → ● 工事2 ◇ — ^A × | ○工事1を落札した場合 →期限内までに工事2の入札を辞退 |
| ② 工事1 ◇ — ^A △ → ■ 工事2 ◇ — ^A △ → ● | ○工事1を落札しなかった場合 →工事2の入札書提出 |
| ③ 工事1 ◇ — ^A △ → ● 工事2 ◇ — ^A × | ○工事1の入札書を提出した場合 →期限内までに工事2の入札を辞退 |
| ④ 工事1 ◇ — ^A × 工事2 ◇ — ^A △ → ● | ○工事2の入札書を提出する場合 →期限内までに工事1の入札を辞退 |
| ⑤ 工事1 ◇ — ^A △ — ● → ● 工事2 ◇ — ^A × | ○工事1の落札決定が延び工事2の入札書提出期限を越えた場合 →期限内までに工事2の入札を辞退 |
| ⑥ 工事1 ◇ — ^A △ → ● 工事2 ◇ — ^A △ — × | ○工事1と工事2両方に入札書を提出し落札決定前に工事2の辞退を申し出た場合 → 辞退不可 |
| ⑦ 工事1 ◇ — ^A △ → ● 工事2 ◇ — ^A △ — × | ○工事1と工事2両方に入札書を提出し、工事1を落札後、工事2の落札決定前に辞退を申し出た場合 → 辞退不可 |
| ⑧ 工事1 ◇ — ^A △ → ● 工事2 ◇ — ^A △ → ● | ○工事1と工事2両方に入札書を提出し、両方落札した場合 → 指名停止等のペナルティの対象 |

入札書提出期限（入札書を提出する場合は、入札書提出まで）から落札決定までの間が重なる工事において複数の工事に入札書を提出することはできない。
配置予定技術者調査に、複数の技術者を記載した場合は、入札書提出期限（入札書を提出する場合は、入札書提出まで）から落札決定までの間が重なる複数の工事において、入札書を提出することができる。（例：2名記載した場合は、2工事について入札書を提出することができる。）

8. 週休2日制工事実施要領の策定

1 主旨

建設産業は他産業と比較して労働時間が長く、休日数が少ないことが課題となっており、労働者の健康確保やワーク・ライフ・バランスの改善、また将来の担い手を確保につなげるため、週休2日制工事の試行を進めてきました。

今般、実施要領を策定し、試行から全面実施へ移行します。

2 適用日

令和6年4月1日から施行

9. 土木設計業務等委託契約における設計変更ガイドラインの策定

1 主旨

土木設計業務等委託契約において、発注者と受注者がともに、設計変更が可能なケース・不可能なケース、手続きの流れ等について十分理解しておくことにより、設計変更の円滑化および適正化を図るため、設計変更ガイドラインを策定しました。

2 適用日

令和6年4月1日から施行